

別紙

第1回水源環境保全・再生がなわ県民フォーラム（県西地域フォーラム） 意見集約書

	内容	意見等の対象（想定）			フォーラムでの取扱い
		県民会議	県	その他	
1	今回参加させていただきましたが、一人一人の考え方は持っていると思いますが、どのように中に入っていくといいか、皆わからないのではないですか？ 仕組みをわかるようにしてほしい！	○			
2	【今後（2回目以降）のフォーラムの計画】 今回は山林整備が中心であったが、窒素やリンの減少策も伺いたい。	○			
3	動物の話も聞きたかった。2回目をお願いします。	○			
4	県のあと押し、特に県民税による後援の効果！ やって良かったと実感！ 山の人達と、都市住民の協力体制をさらに高めることによって更なる明るい見通しが立てられると思った。本日のフォーラムは我々に元気づけてくれた。謝々。当否はともかく、県側の討論参加も良かった。	○			
5	本日のパネルディスカッションの内容にとっても興味を持ちました。できれば、プレゼンファイルをデータでも別刷りでも構わないので、入手できたらと思います。			○	
6	ずいぶん面白いフォーラムです。	○			
7	秦野市での開催を希望いたします。取り組みの説明が聴講できず残念でしたので。	○			
8	神奈川の水源の現状、シカの被害等による水源林の破壊などあれば、一度見学を企画してはどうですか。良い面を見せるのではなく、困っている面を皆でどうしていくか考える必要があります。	○			
9	今回のフォーラムは、地理的に交通の便が悪いので、もう少し交通の便の良い場所を選んでいただければと思います。	○			
10	各自の発表を資料にさせていただいて、参考にできれば大変よいと思います。	○			
11	「県民会議」の目的は税のチェック機能と地元の生の声を聞くと言われますが、本来このような分野は「議会」の範囲だと思います。両者が同じようなことをしているように見え、このような事業（県民会議）にも水源環境税が使われているのですか。そうだとすればどのくらいの予算がついているのですか。問題は税の使われ方なのに、その追求が浅いので何もおもしろくない内容だと思った。「県民会議」など新設する必要はないのではないかと思います。	○			
12	【雑木の芽の更新等について】 保安林の剪定した所はクロキ（スギ・ヒノキ）の人工林で占めているが、海拔300～800mの雑木林対策について2回目以降のプレゼンテーションをお願いしたい。	○			

第1回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県西地域フォーラム） 意見集約書

	内容	意見等の対象（想定）			フォーラムでの取扱い
		県民会議	県	その他	
13	水源環境保全・再生の個人県民税超過課税関連項目	【水源環境税について】 水源地域の住民もそうでない住民も同一税率負担はどうかと思う。（水源地域の方は、常時、生活の中で水源保全に協力している。）	○		
14		山北町の現状はどこまで進行しているのですか、知りたいです。水源税は5年間でいくら入りますか。			○
15		【水源税対策のPR活動について】 税の使い道で県民へのPR活動に対する予算が少ないと思われるのですが、どう思いますか？高知県の森林環境税では、初年に60%近く予算を使っていたので。		○	○
16		神奈川県の場合、個人の所得割にも超過課税をしており、負担に個人差があるので、各人がいくら負担しているのか明確に周知すべきではないでしょうか？		○	
17		貴重な県民の税金を使っているの取り組みであると考えますので、環境等に十分気を配りまして進めていただきたいと思えます。	○		
18		これから先、環境は悪化していくと思う。そんな中で、このような水源税導入は非常に必要なことだと感じます。数百円、数千円で環境が保たれるなら安いものではないでしょうか。	○		
19		水源地域の人々の元気な実情を知り、感心しました。当面、環境税がこれらの人々の役に立ち、輪がより広がっていくことを願っております。	○		
20		【仕事をする作業員について】 作業員が少なくなっているとのことで、1年を通し仕事があれば、作業員は増えると思います。	○		
21		【関係者が考える神奈川県内の森林のあり方は？】 個人の活動についてはよくわかったが、では客観的に神奈川の水源林として何が必要なのか。それは一県民である私たちではわからないことなので、ぜひ教えてほしい。			○
22	【森林整備への担い手不足対策】 一体、どの位、訓練すれば、山で仕事ができるのか。332名と聞いてあせんとしました。川又さんの明るさはどこからくるのか。どうしたら川又さんのようになれるのか。次世代への継承の道を全県的にどのようにしたら可能か。実際、ご子息は同じ稼業ですか。			○	
23	【担い手不足の原因と解決策について】 林業等の担い手不足について各パネリストからお話があったが、その原因と解決策について何かあればお聞きしたい。			○	
24	林業に関わる担い手が大変不足しているとお話を聞きました。今後の担い手の育成手法についてご検討ください。非常に難しい問題かと思われませんが、よろしくお祈りします。	○			
25	担い手不足等の解消を！また、水源地域の森林だけでなく、地域そのものを守っていく必要を感じた。	○			
26	水源税により森林整備が多くできる状況であるのに、担い手がないのは問題である。補助金や寮などの待遇、賃金を上げるなどして、若い人を確保していかないと、森林を守る人がいなくなる。長野県が人材確保している様に、もっと税金を有効活用できないものか。	○			

第1回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県西地域フォーラム） 意見集約書

	内容	意見等の対象（想定）			フォーラムでの取扱い
		県民会議	県	その他	
27	【間伐材の利用について】 県民がもっと間伐材を利用するためにはどうしたら良いか？利用についてのアイデアがもっと必要だと思うがそうした機関はありますか？日本の木の文化の衰退をくい止めるために県の取り組みが必要では？		○		
28	【鹿害対策】 鹿柵だけでは、鹿の繁殖を止められない。鹿そのものの個体数を制限（減少）する具体策は？具体的活動は？		○		
29	水源地域のシカやブナハバチ等の生態系の対策はどうしておりますか。具体的に成果が上がっている例があれば教えてください。		○		
30	【森林の荒廃をどのようにして再生をはかるか。】 私有林の荒廃が進行していますが、私有林が県内に占める比率はどのくらいですか。 私有林の荒廃化は林業の経営不振が大きな要因となっていますが、改善するための施策はどのようになっていますか。神奈川県と民間の英知を結集してやってください。県木材の評価を高めるための研究を教えてください。19年度予算に占める森林再生は21億円で全体の77%を占めています。この予算執行に伴い、Cランク（荒れている森林）を57%からどのくらい改善が可能か。シェアーをどのくらいの目標としていますか。		○		○
31	【水源林整備の内容の見直し】 水源の整備の際、間伐に木を集積しているが、材を積み上げるのは、非常に労力を要し、作業する人にかかりの負担をかけているように思います。土どめの効果を得るなら、立木にかけ、筋状にするのがよいのでは？		○		
32	水源林整備において、下層植生の衰退を理由に除伐が控えめになっているが、灌木が密に生えている所での作業は、非常に危険を感じる。林業は死亡災害も非常に多いので、担い手も増えないのではないかと思う。 安全面にも配慮した設計としていただきたい。		○		
33	【関係団体への補助について】 間伐等に関する造林補助事業が国・県で既にあるが、水源環境税との兼ね合いは。またその補助を受ける時の申請は既存のものとの違いはあるのか。		○		
34	【水源林づくりについて】 今、水源の仕事をしているが、間伐した木を集積することに、作業内容の中で1番時間を使っているが、本当に集積は必要ですか？その分、他のことができると思いますが、どうでしょうか？		○		○
35	今夏の台風・大雨により、河川上流域での人工林の表土の流出・林道の法面の崩壊・沢筋の河床の流出により下流域での河川の中州に土砂の蓄積で流路が変わったり、本流の滞りにより、狩川流域の塚原地内では支流に逆流して住宅の床上浸水があったが、行政の担当者は地形によるものと言うのみ。また酒匂川の旧十文字橋の落橋も上記と同様の原因と考えられる。人工林を自然林に変換を行い、山林の保水力を高めることに水源税を使ってください。林道の開設やスギ、ヒノキの植林は止めるべきです。	○			

森林整備等関連項目

第1回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県西地域フォーラム） 意見集約書

	内容	意見等の対象（想定）			フォーラムでの取扱い
		県民会議	県	その他	
36	林道の新規開設は止めてください。不法投棄の場所が増すのみです。	○			
37	水源地域の再生に伴う整備の強化をお願いしたい。おいしい水豊かなれば山林が大切な資源となりますので、水源地域の保全を図ってほしい。	○			
38	林業経験者を数人契約職員として設置し、実際の現場等を調査したり、整備等を行った後の検査を行ってはどうかと思う。	○			
39	北欧の森林保全等の勉強をすると良いのではないか？	○			
40	管理（手入れ）の出来ない人の山林は山主の了解を得て公の機関（森林組合等）で施業できる施策が必要。	○			
41	【森林ボランティアについて】 私は湯河原でボランティアを始めたものです。3人でスタートしてまだチェーンソー2本と草刈機4台、大ガマ2本ですが、チェーンソーを安く手に入れる方法や人集めの方法をアドバイス願います。			○	
42	山北町は山が深いので作業員の宿泊施設を県（旧ハイツピラ）の跡地に県産材で建設してほしい。	○			○
43	【落札の件】 山林の整備で、落札の話がありましたが、技術のある人がいないのに落札して、大森さんのような人を雇用して、安い賃金になってしまうような話がありましたが、どのようにすれば高い賃金が確保できると思われますか？発注の仕方を工夫して、地域の技術を持っている人々にメリットのある仕組みのアイデアをお聞きしたい。		○	○	○
44	・本当に現金が配分されれば良くなるのか？ ・人の労力なければ、山は育たないと思う？ ・町民・県民が自分のことであるのに行動をしないのは何が原因なのか？ 先の話ではないと思うし、今から何かをしなければならぬと思う。	○			
45	山持ちの人が自分の山を再生した時も何ら収入がないが、何か良い方法はないですか。 私有林について何か良い方法はないでしょうか。	○			
46	時代の変化と共に、農林水産業の従事者は減少していくと思うが、水源の保全は永続していかねばならない。今後さらに人口減少等が進み、どういふ対策が必要か国レベルで考えていかねばならないのではないか。	○			

第1回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県西地域フォーラム） 意見集約書

	内容	意見等の対象（想定）			フォーラムでの取扱い
		県民会議	県	その他	
47	学生時代に見た檜潤丸のうっそうとしたブナ林が戻ってくれば良いと思う。	○			
48	山仕事に従事する人達の熱意が伝わってきました。担い手不足と言われましたが、このフォーラムをきっかけに漠然と何かやってみたいと思った人に、どんな手伝いや仕事があるのか、挙げてもらえると、具体的に考えられるかもしれません。			○	
49	水源域での合併処理浄化槽の設置費用は全て公費で負担されたい。	○			
50	【酒匂川上流から飯泉取水堰までをすべて集水域と考える姿勢はないか。】 ダム集水域に居住する世帯は220にすぎない。酒匂川支流の中小河川周辺の集落は、公共下水道区域でもなく、家を新築するまで何時合併処理浄化槽にするか不明である。これら地域が市町村設置型の合併処理浄化槽にならなければ、早く、安く、きれいで、住民にも優しく、地方財政にも柔らかな仕組みを取り入れることができず、きれいな上水道を供給できない。今の状態では、水源税を取り続けるのは無理。	○			
51	生活排水対策関連項目 【丹沢湖に流入する生活排水の浄化の方針について】 予算項目「水源環境への負荷軽減」によって、丹沢湖に玄倉川が流れ込む場所にある。山北町三保地区の生活排水浄化のため、高度処理型合併処理浄化槽方式を導入する計画と聞いている。 経費の点からも排出水の水質の点からも高度処理型合併処理浄化槽方式よりは、一般の合併処理浄化槽にトレンチ型土壌処理を組み合わせた方式（山中湖村方式）がよいのではないかと考えるが、見解を聞かせて頂きたい。		○		
52	【これ以上の公共下水道は破綻。市町村設置型の合併処理浄化槽事業への見直し転換を】 1. 夕張市は下水道を赤字にしないためには、使用料を月1.8万円にしなければならない。松田町では、月1万円近くの下水道使用料を払わなければ赤字となる。 2. 大手下水道コンサルタントでさえ、破綻すると環境新聞に全面広告している。 3. 国も再度市町村整備事業の効率的転換を指導、東北地方は着々と転換している。 4. 全国で市町村整備事業の合併処理浄化槽0は神奈川のみ。従って、法定点検は10%程で全国最低である。 県の市町村に対する指導が問われる。	○	○		

第1回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県西地域フォーラム） 意見集約書

	内容	意見等の対象（想定）			フォーラムでの取扱い
		県民会議	県	その他	
53	水源環境保全は人と金の有効活用がさらに必要であることを痛感した。特に担い手のたくさんの育成をする機関や機会を引き込むことも必要であろう。	○			
54	水源の保全・再生の必要性について、水を実際に使っている人達がどれだけ感じているか、かなり疑問だと思う。（学校等を利用してはどうか？）	○			
55	【子供達の自然環境学習（森林セラピー）】 横浜から子供達を含めて家族連れ20～30人が訪れた時、1日たっぷり自然環境学習でご指導していただけますでしょうか。あるいは定期的に教室のようなものを開催していますか。			○	
56	山林（森林）は水・空気の源であることを都会人に植え付ける啓発をしてほしい。	○			
57	県民がもっと木（間伐材等）を使うよう教育が必要ではないか？例えば、街中にベンチや丸太のイスを置くとか…。木工教育も…。	○			
58	水と空気はタダという思いの人が多。特に都会人には水源を守ることをの大変さを知ってもらいたい。 水源環境の保全・再生は農林業の再生・保全から。	○			
59	水源環境を保全・再生するためには、長い時間と経費がかかることを都市地域の人達に継続的に理解していただくことが必要である。	○			
60	水源環境保全税は5年立法となっている。きれいな水を供給するのは永遠のテーマであり、5年で完全に整備されるのか。 6年目以降は税に頼らない予算で、水を維持してもらいたい。	○			
61	【相模湾養浜事業への水源環境税の充当】 本税の充当先は上流部事業が主となっています。しかし、ダムが出来たため、砂浜が痩せ、西湘バイパスが崩壊する事態になっています。 飲み水ばかりでなく、養浜にも用途が広がれば相模湾沿岸の都市部住民の理解も得られ、成果も眼に見える形になると思います。都市と山間部の綱引きという形も避けられるのではないのでしょうか。 次回の制度設計にはご検討いただければ幸いです。	○			
62	水源環境税の用途をダム集水域からダム下流の取水堰まで充てること。	○			
63	森林と同時に山間地や中山間地にある荒廃した農地の再生・保全にも取り組む必要がある。山北町では森林と農地が隣り合わせになっている所がない。山をひとつの生態系とみるならば、その一部である農地にも目を向けて欲しい。	○			
64	水源保全と観光事業を組み合わせてもらいたいと思います。	○			

第1回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県西地域フォーラム） 意見集約書

	内容	意見等の対象（想定）			フォーラムでの取扱い
		県民会議	県	その他	
65	<p>県外対策関連項目</p> <p>水源環境税を県外に投資することに反対した県議諸氏の狭量を残念に思う。</p> <p>対象地域を県外を含めているとなっているが、具体的な施策が見えない。山静神サミットなどで話し合いが行われているのか。</p> <p>今後、町民だけでは無理な話であり県内の若い人達も参加し森林づくり、水源を守ることが将来の神奈川県に必要であり、又、静岡県、山梨県とも連携を取り実施すべきと思う。林業等に携わる人達が安心して生活できることが必要である。</p>			○	
66			○		
67		○			
68	<p>【丹沢湖の浚渫後の処理について】</p> <p>丹沢湖には多量の流砂があると思うが、浚渫後の処理をどのようにしているかお伺いしたい。</p>		○		
69	<p>【中山間地の農地の保全について】</p> <p>山北町では、みかんや茶を栽培している農地が、山間地や中山間地にあり、水源の一部となっています。しかし、これらの農地が後継者不足などにより、荒廃しているのが現状です。森林の再生と同時に山間地にある農地の再生・保全も水源保全には必要なことだと思います。私は現在、中山間地を中心に農地を耕作しています。農地の保全について力を尽くしたいと思っていますので、必要な時は御連絡ください。</p>	○			○
70	<p>私の所属している山北工業クラブ（もの作り異業種グループ）として、この問題に取り組む方法等探索中です。</p>	○			
71	<p>【水資源の現状（カラーパンフレット2ページ）】</p> <p>酒匂側水系31.4%のうち三保ダム31.2%となっておりますが、ダム（約100%）からは河内川へ毎秒約16t/s、嵐発電所（東電）より8.5t/s、これが現在丹沢湖より放流されている水量（約80万t/日）と承知しているが違いますか。</p> <p>また、酒匂川水系として飯泉取水堰より取水されている水量は180万t/日と承知しているがどうでしょうか。すると丹沢湖（三保ダム）の供給量の占める割合は約40%となります。これが私の調べた正しい数値ではないかと思えます。</p> <p>パンフレットの訂正とまたこのパンフレット通り三保ダムが酒匂川水系の約100%供給率となるよう予算措置を含めお願いしたい。</p>		○		
その他					
72	<p>大変良かったと思います。私は現場で作業をしている者です。これからも頑張ってください。</p>	○			
73	<p>小規模林家を大事にするべし、という意見には大賛成。これは農業、漁業に共通する問題。国の農業に対する品目横断助成など大規模農家のみを支援する政策は農業つぶしになってしまう。</p>	○			

第1回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県西地域フォーラム） 意見集約書

	内容	意見等の対象（想定）			フォーラムでの取扱い
		県民会議	県	その他	
74	日本の基本産業の衰退は目を覆うばかりだ。	○			
75	取組を支えるための人づくり（専門家の養成）を痛感した。（県や地方自治体、関係業者で解決は難しい。）	○			
76	取組を支えるための人づくり（専門家の養成）を痛感した。（県や地方自治体、関係業者で解決は難しい。）	○			
77	神奈川力構想に2点ほど提案した。			○	
78	森が元気になって、きれいな水ができることは、素晴らしいことですが、人も共に元気になれるシステムづくりを考えていく必要があると思います。森林環境が人の健康に寄与すると言われてきています。いやし、生活習慣病予防が求められている昨今、森の健康活用を考えていくことも大切なことだと思います。都会との交流も良いのかもしれないですね。（町活性のためのPR）	○			